

平成21年度第1回 鳥取市総合企画委員会 議事概要

日時	平成21年8月25日(火) 午前10時～正午
会場	鳥取産業会館鳥取商工会議所ビル5階大会議室
出席者	鳥取市総合企画委員会委員(17名) 市長、林副市長ほか幹部職員

1 開 会(事務局)

2 市長あいさつ

<要旨>

今回の委員会では、第8次総合計画の次期総合計画の策定が大きな任務となる。

次期総合計画は、よりよい鳥取市づくりの基本となるものを期待している。

現在、第8次総合計画に基づき計画的なまちづくりを進めている。

- ・「2009鳥取・因幡の祭典」では地域の特色ある取り組みを紹介。
- ・「鳥取街なか・賑わいのまちづくり実証事業」、「第2弾 鳥取市商店街スーパープレミアム付き商品券」、「ジオパーク」などを進めている。
- ・「ごみ施設の新設」により、環境に影響が少なく、ごみの少ないまちを実現へ。
- ・「定住自立圏」は本市を拠点的な都市として4町と連携し、発展するための取り組み。

地域には潜在的な可能性がある。医療、福祉が充実し、経済的、文化的にも「人を大切にする行政」を目指す。

委員のみなさんの新鮮な視点で、人々の生活を豊かにするあり方、すばらしい地域が実現する計画を策定していただきたい。

3 委員自己紹介

4 委員長・副委員長選出(事務局より提案すること及び提案内容に委員会承諾)

委員長 道上正規 氏 ((財)とっとり地域連携・総合研究センター 理事長)

副委員長 池原範雄 氏 (鳥取市自治連合 会長)

<委員長あいさつ要旨>

- ・砂像フェスティバルは本市の知名度アップに効果があった。
- ・委員会では、鳥取市の発展の基となる計画を策定する。

5 諮 問

市長から道上委員長に諮問書が渡された。

6 議 事

(1) 協議・報告事項(事務局説明)

総合企画委員会の職務等について ...資料1

第8次鳥取市総合計画「実施計画」について ...資料2

次期総合計画策定について ...資料3

市民アンケートの実施について ...資料4

事前意見書について

(2) 意見交換

総合計画策定に係るパブリックコメントの方法について

委員：市役所で閲覧する方法だけでなく、市のホームページを活用するなど、仕事をしている人などだれでも参加しやすい方法を工夫してほしい。

事務局：市ホームページでも実施する。その他に、「出前説明会」、「地域づくり懇談会」、「地域審議会」などで説明し、多くの市民のご意見を反映し、策定していく。

市長：パブリックコメントで多くの意見をいただくため、新聞紙面を使用するのもいい。

委員：市報、新聞などに概略版を掲載してほしい。

市民アンケートについて

委員：調査項目を減らし、答えやすくしてほしい。回収率を高める工夫をすべき。前回結果との比較はあまり重要ではないと思う。

委員：調査項目の軽量化が必要。専門的な内容は個別に調査すべき。

事務局：現在の調査項目は少なく（スリム化）したものである。ご意見を受け、再度内部で協議する。

委員長：事務局で改めて、整理すること。

2009鳥取・因幡の祭典について

委員：ポスト祭典、また、鳥取市の観光行政について、市長の考えを教えてほしい。

市長：様々な地域の行事を中心に盛り上げていく。

農山村の魅力（グリーンツーリズム）などの体験観光によるリピーターづくりを進めている。

「砂像のまち鳥取」を広くPRしていく。鳥取の「砂像文化」が参考とされ、韓国でもイベントで砂像が展示されていた。

砂丘を含む山陰海岸ジオパークを活用し、観光地として魅力を高め、地域経済の活性化や地域の誇り、自信に結びつける。

関西圏をはじめ、東京などへ観光資源をPRしていく。

委員：砂像フェスティバルの時、市街地と会場（オアシス広場）までのアクセスがよくなかった。鳥取自動車道から鳥取砂丘までの交通アクセスの向上に、市としての方向性が示してほしい。

企画推進部長：渋滞等への対応として、国道9号線以外の道への誘導などを行ったが、結果的には渋滞を招いた。今後の取り組みに活かしていきたい。

委員：韓国で砂像は驚いた。全国的に広まる可能性がある。第2、3の手を考えるべきでは。

経済観光部長：「砂の美術館」の充実強化を図っている。砂像の文化がまちづくりに定着するように取り組む。

委員：第2期（昨年）の「砂の美術館」の開催時期は、梨の収穫時期と重なり良かったが、今年は違う。美術館の開催を単品ではなく、いろいろな観光メニューの組み合わせ

わせができる時期にし、着地型観光につなげるべき。

市長：第3期（今年）は、世界砂像フェスティバルの開催の影響で時期が遅くなっている。

委員：観光サイン、鳥取空港のネーミングを「鳥取砂丘空港」にしてみてもどうか。

都市整備部長：空港名の通称変更はできる。（地図での空港名の表記）正式名称は難しい。

周辺自治体を含め、コンセンサス（合意形成）が重要となる。

着地型観光について

委員：着地型観光が求められているが、市長の考えを教えてください。

市長：通過型ではなく、宿泊を目的とする着地型観光を目指している。ウェルシティ鳥取の撤退について、本市の宿泊・コンベンション機能の面で継続を働きかけた。

着地型観光地となるよう、地域の方々と一緒になって取り組んでいきたい。

実施計画の事業について

委員：橋梁維持補修の優先順位について聞きたい。

都市整備部長：緊急度の高いものから補修を行っている。

委員：農業・林業の担い手、雇用対策の支援が活用しやすい内容にすべき。

農林水産部長：活用しやすい支援となるよう、希望者の意見等を参考にしながら支援の内容を決めている。

委員：農林水産業に限ったことではなく、ITのベンチャー企業への支援なども含めての意見である。雇用支援は活用しやすい支援とすべき。

市長：市の施策として、チャレンジショップ、ふるさと就農舎がある。縦割りの仕組みはだめ。生活面、技術面での支援を次期総合計画に盛り込む。「チャレンジシティ鳥取」を打ち出していくのもいい。

委員：チャレンジショップは、例えば、成功した経営者には、そのまま店舗として提供するほうが有効なのではないかといった意見を聞いたことがある。

市長：弾力性をもちながら取り組むべきということ。

委員：中山間地域の過疎、高齢化、地域コミュニティの崩壊対策が必要である。昨年、積雪時の脇道の積雪、倒木など、新聞配達もできない状況であった。

委員：総合計画策定にあたり、議論が必要なことである。

企画推進部長：中山間地域、限界集落の問題をはじめ、総合計画策定にあたっては、委員に随時、資料を提供させていただく。

委員長：他に意見等があれば、事務局に直接提出していただきたい。

7 閉会（事務局）